



もぐもぐだより 第3号

1999年6月4日 発行

vol. 3  
高松市歯科医師会

# もぐもぐ

歯医者さんからのかわらばん

# だより

特集

子供たちの  
将来の歯・口の  
健康づくりをめざして



### ▲5~6歳児の口の中の状態

乳 歯 / A: 乳中切歯、B: 乳側切歯、C: 乳犬歯、  
D: 第一乳臼歯、E: 第二乳臼歯  
永久歯 / 1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、  
5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二小臼歯

知っていますか?

今ある乳歯の下には、  
もうすでに永久歯が準備を  
ととのえています。



子どもの歯は  
2階建て

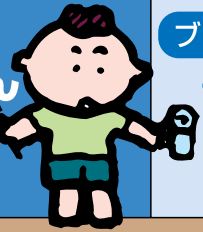
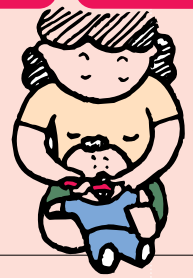
(歯と口の学校より)



子供たちの将来の

# 歯・口の健康づくりをめざして…

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
お口の中	●歯がはえ始める時期	●むし歯の治療がむずかしい時期	●乳歯がはえそろう時期	●顎(あご)が大きくなって歯の間にすき間ができる時期	●第一大臼歯(永久歯)がはえてくる時期	●永久歯にはえかわる時期							
歯ブラシ	乳児用	幼児用	園児用(幼稚園・保育所)				学童用						一般用
保護者の役割	歯がはえたら歯みがきスタート	上下の前歯	上下の前歯と奥歯	上下20本			永久歯がはえはじめ上下24本						すべて永久歯上下で28本
食物	離乳食 ●うす味で ●甘味をひかえて	おやつ ●栄養と楽しさを考えて。 ●1回の量と時間を決めましょう。 お菓子は要注意	外遊びが多くなります ●保育所、幼稚園での集団生活に慣れてきます。 ●規則正しい習慣をくずさないように。	すききらいのない様によく咬んでたべましょう ●顎(あご)の発音が悪いと永久歯の歯ならびに影響します。									栄養的にバランスのとれた食事をとり、食物そのものの味を味わおう。
健診と予防処置	予防や早期発見のためにも半年に1度は定期健診をうけましょう。	1才6ヵ月児 節目最初の歯科健診 乳歯の予防処置 フッ化物塗布	3才児 節目の歯科健診 保育所、幼稚園での歯科健診が始まります。	永久歯の予防処置 フッ化物塗布 シーラント									学校歯科健診で異常が認められれば早目に受診しましょう。
お子さんの役割	●歯ブラシに慣れましょう。	●自分で歯をみがく習慣をつくりましょう。	●できるだけ自分で、すみずみまでみがきましょう。	●永久歯も大切にみがきましょう。(大人の歯を見て下さい)	●永久歯と乳歯の混合歯列の時期です。 ●歯がでこぼこしてはえていますので注意してみがきましょう。								●永久歯になりました。時間をかけてみがきましょう。



# 大人が守ろう 磨いてあげよう

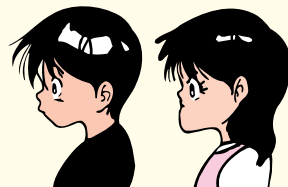


# 子供の歯

## Q. 乳歯はなぜ重要なのですか？

乳歯は、成長発育の最も旺盛な乳幼児期から一番奥の乳歯が抜ける10～12歳頃まで、食べ物を小さく噛み砕いたり、正しい発音をするために必要です。さらに、次のような働きもあります。

1 乳歯は、体の発育に重要な役割をもっています。



顎(あご)の成長差

2 乳歯は、顎や顔の成長に影響も与えます。

3 乳歯は、永久歯が生えてくる場所の確保もしています。



歯の欠損

4 乳歯は、かみ合わせの関係も確保しています。



大人の歯

5 乳歯は、永久歯の形成に影響を与えることもあります。

6 乳歯は、子供の精神発達に影響も与えます。



指しゃぶり

いずれにしても、乳歯期からむし歯をつくらないことが大切です。歯が生え始めたときから、歯の清掃を行う習慣をつけること、間食は時間をきめてきちんととること(甘いものなどいつまでもだらだら口にしないこと)、保護者も子供の歯の観察などをよく行い、むし歯や生えかわりの状態に注意してあげ、半年に1度は、定期健診を受けさせることが大切ではないでしょうか。

(社)高松市歯科医師会からの



高松市歯科医師会では、『お口からはじまる健康管理』をスローガンに、歯について市民の皆様方によりご理解いただけるよう『もぐもぐだより』を発行しております。これからも、市民の皆様方と共に歩んでいきたいと考えておりますので、ご感想、ご意見、ご希望をお聞かせください。

会長 井上 悟

連絡先

(社)高松市歯科医師会 〒760-0066 高松市福岡町3-36-23

TEL 087-851-1166 FAX 087-851-1167